

発明工夫展



◀表彰式の様子は
こちら

市長賞

小坂 奏央さん
(鷹巣小6年)



「飛び散らない筆洗いカップ」

議長賞

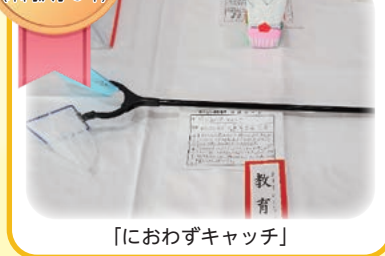
高橋 勇登さん
(綴子小4年)



「ひやっとキャップ」

教育長賞

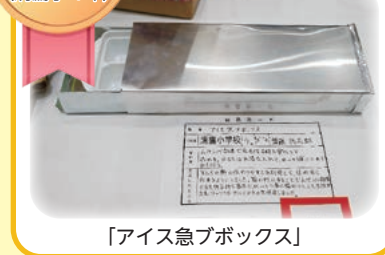
吉田 光我さん
(米内沢小5年)



「におわずキャッチ」

教育次長賞

齋藤 孔志朗さん
(清鷹小4年)



「アイス急ボックス」

学校教育課長賞

相馬 大河さん
(鷹巣小5年)



「超冷感！ペット用アルミボード」

審査委員長賞

柴田 凌吾さん
(米内沢小6年)



「夏冬両用 牛乳パックそり・ビート板」



ノースアジア大学明桜高校 3年
松橋 日々生 選手

第

105回全国高校野球選手権記念秋田大会において、ノースアジア大学明桜高校が優勝し、2年ぶり11回目の甲子園出場を果たしました。部員98人を誇る同校で、県大会から3番レフトとして活躍した松橋日々生選手は本市出身です。

「今大会を振り返っての感想を教えてください。」

野球を始めた頃から目標としていた「甲子園出場」を達成できて嬉しかったです。大会では思うような結果が出ませんでした。最高の仲間とともにプレーできて本当に幸せでした。ただ同時に、大舞台で結果を出すことの難しさを感じたので、次のステージでの課題の一つだと考えています。

「高校野球でどのようなことを学びましたか？」

100人近い部員の中で、チームワークや協力することの大切さ、コミュニケーションの重要性を学びました。野球に関するアドバイスを情報交換、そして時には厳しい言葉を掛け合いながら、みんなで成長してきました。これからの人生でも学んだことを生かして生きていきたいです。

また、目標に向かって努力することの大切さを学びました。「甲子園出場」の目標を達成するために、高校から始めた外野手の守備練習や打撃向上のために自主練習で毎日素振りや繰り返しました。「目標」と「現実」とのギャップを正しく理解し、適切にアプローチしていくことが大切だと思います。



①小4時に鷹巣JBCでプレーする松橋選手。(写真=家族提供) ②高3時の春季東北大会で日大東北高校相手に打席に立つ様子。(写真=学校提供)

「北秋田市の好きなところ、思い出の場所を教えてください。」

地域の方々、皆さんの心が温かいところが好きです。学校帰りなどでも優しくあいさつを返してくれることなどが印象に残っています。また、甲子園出場が決まった時も、たくさんの方から応援メッセージをもらい、そのおかげで最後まで頑張ることができました。思い出の場所は、小中学生のときによく試合をした「鷹巣中央公園野球場」です。また、友達とよく遊んだ「米代川河川敷」も大好きな場所です。

「最後に、市内でスポーツを頑張る少年・少女にメッセージをお願いします。」

ずっと目標にしていた「甲子園」は本当に凄い場所です。グラウンドに立ったときは感無量でした。皆さんにも同じような経験をたくさんしてもらいたいです。目標をしっかりと持ち、一緒に戦ってくれる仲間を大切にしながら、楽しむ気持ちを持ってプレーしてもらいたいです。また、自分たちを支えてくれる家族や指導者などに感謝の気持ちを持って、日々の練習に取り組んでください。皆さんの活躍を応援しています。

友好交流都市連携事業



くにたちだより

vol.12

国立市のさまざまな魅力を定期的に紹介します。

「旧国立駅舎」

旧国立駅舎は、JR中央線国立の南口を出ると目の前に見えてきます。まちづくりの象徴として大正15(1926)年に建造された旧駅舎は、イギリスの田園都市に見られるような赤い三角屋根に白い壁、欧米の大規模な駅舎にも用いられるロマネスク風の半円アーチ窓やドーマー窓が取り入れられました。また、ひさし柱にはイギリス・アメリカ製の古レールが用いられたのも特徴です。

創建されてから80年間、たくさんの人々が行き交う姿を見守ってきましたが、平成18(2006)年にJR中央線の立体高架化工事に伴い解体され、その役目を終えました。しかし、解体を惜しむ声や全国からみてくださいます。



▲旧駅舎外観



▲内観